

生ごみ自家処理 こうしてためています!



クリーンむさしのを推進する会 じゃがいもの会

東京都武蔵野市 今木 仁恵



生ごみからのおいしくて元気な野菜づくりを広めよう!

～人は元気に、ごみは減る～

武蔵野市民による「生ごみを土に返しごみを減らす活動」は1997年からクリーンむさしのを推進する会(以下、クリーンむさしの)、南町福祉の会が始めており、長い間試行錯誤しながらさまざまなことに取り組んできました。2008年からは生ごみ堆肥での野菜作りを活動の中心とする「じゃがいもの会」も活動を始めました。

2009年2月、クリーンむさしのは段ボール法コンポスト「生ごみ活かす君」に取り組み始め、モニターに無料配布を続けています。これまでに440件、堆肥化した生ごみは約60トと予想されています。現在新しい資材・仕組みを研究中です。

2年前「大地といのちの会」の吉田俊道さんの「農業も化学肥料も使わずに、ミネラルたっぷりの生ごみと微生物いっぱい土からおいしくて元気な野菜を作り、人も元気になる」という講演聞いて、**元気野菜づくり**を広めていくことにしました。仲間と一緒に楽しんで、おいしい野菜を作って食べて、自分や家族が元気になって、よいことがいっぱい自分に返ってくる。そして、結果としてごみは減るというわけです。

♪♪♪

クリーンむさしでは、昨年2月より「生ごみ・元気! ニュース」を発行し、プランターで、ベランダで、庭で、市民農園で、空きスペースで、遊休地で…と、ありとあらゆる土地を使って、一人で自由にやるのもよし、またみんなでつながって楽しくやるのもよしと、「生ごみから元気野菜作り」をアピールしています。取り組む人やグループに抗酸化バケツ、資材の支援などもしています。

♪♪♪

みんなで一緒に生ごみから野菜づくりをするコンポストガーデンを広げよう!(現在3ヶ所)…ということで、市民農園の一面を市が約70㎡確保して、2012年春よりごみ減量協議会(市と市民と事業者で構成)の運営で生ごみから野菜を育てており、**市の職員も熱心に参加**しています。

じゃがいもの会では2008年は13件、現在は30件、年間約2.3トの生ごみを回収・堆肥化し、2010年7月と2012年7月、2つの宅地を借りて、畑として使用しています。畑作業の他に**取れた野菜などを使って、味噌作りなどの料理講習**を開き、また近隣の人を巻き込んで畑で鍋パーティを開いたりコミュニティ作りを大切にしています。

今年5月には**青年部が発足**。20代から40代のほとんどが食を仕事にしている人たちで、子連れで参加し、自分のお店で使う野菜が作れたら、子どもたちがこの畑で育ってってくれたら…と夢を膨らませています。(上の写真は畑の看板作りの写真です)

♪♪♪

生ごみの堆肥化法は、自分にあったものを選んでもらいます。吉田俊道さんの土ごと発酵、段ボール法コンポスト(生ごみ活かす君)、コンポスター、ベランダdeキエーロなど何でも可。もちろん生ごみを土に返すだけでもOK。楽しみながら広げていきたいです。